

後期アクションプラン3つの戦略(柱)の評価

資料1

戦略名		概要	主な内容	評価
戦略1	スポーツを支える人づくり ～スポーツ人財バンク制度の確立～	スポーツ指導者を必要とする市民をはじめ、学校、職域、各種団体等の要請に対して、専門的な知識や経験、技術等を有している指導者を派遣することで、市内のスポーツ活動の普及促進と発展を目指します。また、指導者と依頼者のマッチングを行うだけでなく、指導を求める人のニーズに適切に応えることのできる指導者の養成・確保と資質の向上に取り組めます。	・ 市民、学校、職域、各種団体の要請に応じてスポーツ指導者を派遣する仕組みの確立 ・ 中学校部活動の地域移行を踏まえた、スポーツ指導者の確保と育成	A 令和3年12月、「東御市スポーツ人財バンク設置要綱」を制定。広報や市ホームページにて周知を行い、令和6年3月末で22名の登録者がある。また、「スポーツ人財バンク補助金」として人財バンクに登録している指導者が競技力を向上する目的で新たにスポーツ指導者資格を取得する場合の費用の一部を市から補助している。
戦略2	裾野の拡大を目指したスポーツ推進委員の活躍	行政、スポーツ団体と地域の架け橋となってスポーツ振興を支える地域スポーツのコーディネーターとしての役割を担えるようスポーツ推進委員の機能強化を図ります。専門的な指導を目的とする人財バンクとは異なり、市民がスポーツを行うきっかけづくりの場を提供し、より地域に根ざした組織体制を目指します。	・ 地域におけるスポーツ機会、生涯スポーツの機会提供、市民のスポーツニーズの把握と反映、多様な組織・団体との連絡調整の強化 ・ 総合型地域スポーツクラブ、地域づくりの組織との連携・協力体制の強化・充実 ・ スポーツ推進委員の周知 ・ スポーツ推進委員の活動しやすい環境づくり	B 例年行っているスポーツ業務の補助業務に加え、地域のスポーツ振興をコーディネートできる組織を目指し、会議・活動を行った。今後も継続して地域のスポーツ推進役としてスポーツ振興をコーディネートできる組織を目指していく。地区のスポーツ交流活動に指導者としての派遣実績もあり、地域づくり組織との連携や協力体制も構築してきている。
戦略3	スポーツコミッションによる地域経済の活性化	スポーツを活かした地域の収益性と知名度向上を目指すスポーツコミッション機能の充実により、スポーツの更なる広がり和本市固有の価値の創造を図ります。	・ 地域や経済の活性化を目指すアスター施策と市民のスポーツ参加機会を促進するインナー施策の両立 ・ 湯の丸高原スポーツ関連施設全体のコーディネート機能・統制機能の発揮 ・ 交流イベントを含む各種イベントの開催(宿泊数増加、競技力向上)	A 湯の丸高原にある競技施設やアスリート食堂を活用したイベントの開催で、県内外からの誘客だけでなく、市民も湯の丸を身近に感じ、東御市独自の環境を有効に活用できる機会を設けることができている。宿泊者数については、開始当初は新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、徐々に回復し順調な増加を見せている。